



## さあ、二学期。目標をもって取り組もう

短い夏休み、どう過ごされましたか。まだまだ暑い夏が続きますが、今日から新学期のスタートです。人が成長するには、はっきりした目標を立てることが大切です。私達大人も仕事やプライベートで、明確な目標がないと何となく時間が過ぎてしまうものです。

学校では、学級の目標を見直したり、自分の目標を考えたりして先の見通しを持たせながら子供達を指導していきます。ご家庭でも子供さんと一緒に何か1つ頑張るものを決めて見ませんか。そして、それに向かって頑張っている子供をしっかりほめて継続させていってください。きっと実を結ぶと思います。

さて、二学期は、様々な行事が予定されています。その行事も子供達の1つの目標になります。新型コロナの感染が心配ですが、対策をしっかり継続して実施していきたいと考えています。保護者の皆様のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

### 一学期の子供達の学習の様子



1年生  
2年生と一緒に八所宮へ



2年生  
毎朝、かぶと虫のお世話



3年生  
はじめてのリコーダー



4年生  
理科 電池の働きの学習



5年生  
外国語科の学習



6年生  
能楽とのふれあい

★ 二学期は、学習の様子を見ていただける場を設けたいと考えています。

## 二学期の主な学校行事等について

8月19日(水)・20日(木) 個人懇談

9月10日(木)・11日(金) 5年生 セカンドスクール

(グローバルアリーナ)

12日(土) 土曜授業 ※ 避難訓練は、11月に変更。

28日(月)・29日(火) 6年生 修学旅行

10月10日(土) 吉武小 スポーツ大会

11月 7日(土) 吉武小文化祭

12月24日(木) 二学期終業式

急な変更があるかもしれません。

ご了承ください。

## できるところからスタート

算数が苦手な子、漢字が苦手な子、跳び箱が苦手な子、子供だけでなく大人も苦手なことはありますよね。ついつい「もっと漢字の練習をきなさい。」「先生の話最後まで聞きなさい。」など苦手なことを指摘したり、その原因を直すように話したりしていませんか。子供達は、自分が苦手なことは十分分かっていますし、できるようにになりたいと思っているはずです。

かかわり方を少し変えてみませんか。例えば、跳び箱を跳ぶのが苦手な子は、自分は「できない」と思っていますから、自分から進んでチャレンジすることができません。そこで、自分からチャレンジできるように、その子が跳べるような場をつくってスタートし、徐々に難易度をあげていきます。「できた。」「これもできた。」「やった。またできた」と成功体験を積み重ねます。その時にしっかりほめて、気分を上げて自信がつくと、今まで跳べなかった跳び箱が跳べるようになります。子供は大喜びです。苦手なことに取り組ませるには、「できるところからスタート。できたらほめる」がポイントです。

## ほめ方のポイント

人は、誰かの役に立った時幸せを感じるといわれています。大人でも誰かのためになって感謝の言葉をいただくと、うれしい気持ちになりますよね。子供達も同じです。「～してくれて、お母さん助かった。ありがとう。」「～くんがとても喜んでいたよ。」という言葉で子供をほめると、役に立ったことに子供は喜びを感じます。これが子供達の自信につながっていくのです。

「誰かの役に立ったことを伝えること」これがほめる時のポイントです。